

特色ある教育 COMPREHENSIVE EDUCATION

## 豊かな人間形成をめざして



### キリスト教教育

Christianity-based Education

真実を求める心を培い、神や人生について深く考える力を育てる。

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられたこの学校の教育の根幹を成すものです。生徒たちがキリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、社会に貢献する若者として巣立ってくれることを願っています。

### 毎日の礼拝

全校生徒と教職員がともに講堂に集い、聖書の御言葉（みことば）を通して自らを振り返る毎日の礼拝は、この学校の教育の根幹をなすものです。

週一回、各クラスで行われるホームルーム礼拝では、生徒が司会、話、奏楽等を担当します。

### 週一回の聖書の授業

一生の教科書として聖書を学び、正義や愛、自分に与えられた使命などについて深く考えます。

### キリスト教に触れるさまざまな行事

夏休みのグリーンキャンプ、冬休みのホワイトキャンプは、大自然の中で仲間との親睦を深め、聖書を学び、神様や人生について考える機会です。また、クリスマスやイースター、特別礼拝などを通して、キリスト教に深く触れていきます。



▲全校礼拝



▲ホームルーム礼拝



▲グリーンキャンプ（高等部追分寮にて）



▲イタリア・レニャーニ校との交換留学

### 国際交流

International Exchange

国や文化の違いを超えて、他者を理解することのできる人間を育てる。

本校の国際交流が目指すものは、「価値観の多様性 (diversity) の共有」です。これは、世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いを認め合い、共に生きるというイエス・キリストの教えに根ざしたものです。本校はその思想を実践し、グローバル化の時代に対応できる人間の育成に励んでいます。

### 学校間交流

英国の名門パブリックスクールであるリーススクールとイートン校、ルネサンスの文化を色濃く残すイタリア・ミラノ郊外のサロンノ市にあるレニャーニ校との間で、それぞれ数名の生徒による短期交換留学を実施しています。



▲英国イートン校との交流

### 長期海外留学

各種留学斡旋機関を通して1年間の留学をする生徒が年間15～20名程度、各学年にわたって存在します。帰国後に同じ学年に復学する第一種留学と、年下の学年に復学する第二種留学の制度があります。

### 帰国生教育

本校は1970年代から、毎年一定数の帰国生を受け入れてきました。帰国生は普通のクラスに入り、異文化の体験者として周囲に影響を与えます。一方、帰国生が円滑に学校生活に順応できるよう、国際交流委員会の教員が「アドバイザー」となって、学校生活や学習の問題の相談に個別に応じる体制を整えています。

### カナダ・ホームステイ

夏休みに2週間、約30名でトロント市近郊のベリー市を訪問します。地域の施設（老人ホーム・YMCA等）の訪問、チャリティー活動、ナイアガラの滝見学、大リーグ観戦、カヌー体験など様々なイベントが用意され、異文化や大自然を体感できるだけでなく、英語力を試す格好の機会となっています。



▲カナダホームステイ

### 長期留学生受け入れ

毎年数名の海外からの長期留学生を引き受けています。留学生はホームルームに所属してクラスメイトと共に授業に出席し、学校行事に参加するなかで、国際理解の重要な役割を担っています。



▲多くの生徒が参加した国際・スウィーツフェスティバル



Log Book

「過去を見つめる」「現在を知る」「未来を描く」という共通テーマの下、様々な教科を横断した総合的な平和・共生学習の記録ノート(学習ノート)である「Log Book」を制作し、生徒一人ひとりが平和の実現者となるべく、学習活動を行っています。



▲3年間かけて取り組む「平和・共生 Log Book」

## 「平和・共生」への取り組み

An Emphasis on Peaceful Coexistence

人を愛し人に奉仕し、世界の平和に貢献できる人間を育てる。

本校では、「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に捉え、大きな学びとすることを期待して、「平和」や「共生」をテーマとしたさまざまな校外学習のプログラムを実施しています。

### 修学旅行を中心とした平和学習

本校の修学旅行は、2年生の11月に九州を訪れます。太宰府天満宮、柳川、吉野ヶ里遺跡、軍艦島、九十九島めぐりなど各クラスで決めた見学地を訪れ、歴史や自然を学びます。長崎では原爆資料館を見学し、被爆者の方々の体験談を直接伺って、平和について深く考える機会をもちます。さらに、修学旅行の事前・事後学習の域を越えて、3年間かけて様々な教科の中で「平和・共生」学習を実施しています。二・三次から三年次にかけては、生徒一人ひとりが「平和・共生」に関連するテーマを定めて研究論文を執筆することで、学びの集大成とします。



▲被爆者のお話を聞く

### 岩手県宮古市の高校との交流

被災地宮古の皆さんへの「復興への励まし」につながることで、また本校の生徒たちが「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に学ぶことを期待して始めた宮古の高校との交流も、7年目を迎えました。これまでに運動部の親善試合、文化祭でのチャリティグッズ販売、本校生徒会執行部の先方の学校訪問など、交流を重ねています。



▲宮古市訪問

### 青山学院フィリピン訪問プログラム

フィリピン訪問プログラムは、青山学院の初等部から大学までの合同プログラムで、高等部からは、隔年で希望生徒数名が参加します。CFJ(チャイルド・ファンド・ジャパン)の協力のもと、支援先の子どもたちを訪ねてその生活に触れ、あたたかい交流をもつことによって、世界が抱える貧困の問題について知識だけでなく心の繋がりをもち、理解することを目的としています。



▲フィリピン訪問



▲「クリエイティブに生きる～青山の街と大学、そして皆さんの人生」(2016年度総合文化政策学部講座)

## 大学との連携

University Connections

総合的判断力、洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力を育てる。

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、大学との連携を深め、一貫教育のさらなる良き実りを得ることをめざします。

### 学問入門講座

本校では、土曜日の午前中に「学問入門講座」を実施しています。青山学院の大学・専門職大学院・女子短期大学の教員が、それぞれの専門分野について高校生にわかりやすく講義するもので、大学の教室を使って、年10回、各回平均3講座、年間約30講座程度が開講されます。生徒は自分の関心のある講座を自由に選び、2時間の充実した学びの時間を過ごします。大学での学問研究の面白さ、奥深さに触れることができ、卒業後の進路選択にも役立つという感想が多く聞かれます。



▲「身の回りのLED～エコで明るい優れもの～」(2017年度理工学部講座)



▲「臨床心理専門職と心理療法の実践」(2017年度教育人間科学部心理学科講座)

### 3年生による大学授業の履修

2015年4月より、3年生の希望者が放課後に青山キャンパスの大学の授業を履修して、内部進学した際にその単位が認められるという制度を開始しました。大学生と一緒に場で授業を受けることは、高等部生にとって、現在実施されている「学問入門講座」とはまた違った意味で、知的探究心の向上につながると期待しています。

## 2017年度 学問入門講座テーマ

学部	学科	講義テーマ
文学部	英米文学科	●「風景」を見る視点 (私とはどこにいる誰なのか?)
	フランス文学科	●フランス文学における書くこと、読むこと、食べること
	日本文学科	●古代のブックデザイン
	史学科	●歴史学は役に立つのか? —感染症の歴史学をめぐる—
	比較芸術学科	●「ホラー」から入る、映画研究入門
教育人間科学部	心理学科	●臨床心理専門職と心理療法の実践
経済学部	経済学科	●社会・経済を知るための統計学の数理
	経済学科	●教育・格差・幸福度の経済学
法学部		●法学と古典学—オデュッセウスの記憶
		●人権とはなにか? その意味と意義を考えよう
経営学部	経営学科	●金融分野の学習ガイダンスと投資家心理の研究紹介
	経営学科	●会計学入門 —会社の中での会計の役割とは—
国際政治経済学部	国際政治学科	●国際政治学科の学生がつかむ国際社会: 国際テロ問題を素材として
	国際経済学科	●汚職と独禁法の経済学
	国際コミュニケーション学科	●中国二千年とコミュニケーション
総合文化政策学部		●クリエイティブに生きる ～青山の街と大学、そして皆さんの人生
		●生命を捉えなおす
		●コンピュータとデザイン
理工学部	物理・数理学科	●幾何学の使われ方(だまし絵、カオス)
	電気電子工学科	●身の回りの発光ダイオード(LED) ～エコで明るい優れもの～
	経営システム工学科	●身近な人工知能
社会情報学部		●経済学・経営学・統計学
		●トップアスリートのパフォーマンスを科学する ●コンピュータが動く仕組み
地球社会共生学部		●インターネットと言論
		●高校生から始める国際貢献テクニク —人道支援とクリスマスツリー—
法務研究科		●法律家による社会へのアプローチ —同性婚とLGBT支援を題材に—
国際マネジメント研究科		●ゲーム理論とマネジメント
会計プロフェッション研究科		●会計プロフェッション 公認会計士という仕事
短大子ども学科		●児童文学を通して 人間や社会と深く出会おう
短大現代教養学科 人間社会専攻		●青山に空襲があった～何を学び、 いかに伝えるか
キリスト教関連科目		●青山学院が目指す 「サーバント・リーダー」とは?

### 国際理解・留学準備プログラム

早い時期から海外への関心を高めてグローバル感覚を養うことを目的として、大学国際交流センターと共催で以下の3つの特別講座を設けています。

- 海外体験の魅力やグローバル化への対応等の講義を含む「総合オリエンテーション」
- 海外留学の際に必要なとされる英語検定「IELTS(アイエルツ)」の対策講座
- 大使館担当者が、自国文化の紹介や日本との繋がりを英語で講義する「大使館講義シリーズ」



▲大使館講義(マレーシア)の様子